

事務事業名	文化協会協力事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12353							
			所属課室	生涯学習課		課長名	新津 岳							
	☐ 実施計画事業		所属担当	生涯学習担当		担当者名	笹本芳美							
基本政策	基本計画体系	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
		22	生涯学習ネットワークの整備充実		01	一般	1	0	0	4	0	6	0	4
政策			生涯学習システムの推進	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業									
施策		35			☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 年度）			法令根拠										
	☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 南アルプス市文化協会の新春囲碁将棋大会への協力。 大会参加者へ参加記念品を配布する。 本事務事業の実務は、“文化協会事務局”を含め(財)桃源文化振興協会へ移管する。			事業費の主な内訳（22年度）										
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)				
				その他報償費		18								
				計		18								

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	新春囲碁将棋大会記念品購入。
23年度活動予定	新春囲碁将棋大会記念品購入。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
囲碁将棋大会が活発になる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
今後も囲碁将棋大会が継続開催され、地域文化が保存・継承される。	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 記念品購入数	個
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 人口	人数
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 参加者数	人数
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 継続開催回数	回

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	17	18	18	0	18	18	
		事業費計 (A)	千円	17	18	18	0	18	18	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1				
		延べ業務時間	時間	2	2	1	1				
		人件費計 (B)	千円	9	9	4	4	0	0	0	
		(A)+(B)	千円	26	27	22	4	18	18	0	
活動指標			アイウ	個	250.0	250.0	250.0	250.0	250.0	250.0	
対象指標			アイウ	人数	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	
成果指標			アイウ	人数	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	
上位成果指標			アイ	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成15年の合併以前から行われている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	価値観の多様化にともない生涯学習にたいする需用は増加傾向にある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	参加者を市民に限らず、市内外から募り大会の活性化を図った。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	参加者数実績に応じた記念品の数に調整した。

事務事業名	文化協会協力事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 市民(市民文化団体)が自ら将棋大会を企画運営することで、市民の文化振興や生涯学習活動が活発になるので“文化づくりの推進”に結びついている。			
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 大会参加者へたいする記念品の提供のみなので、市文化協会予算でまかなうことも可能と思われる。			
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 市民(市民文化団体)が自主的に事業を行い、市内外の希望者がだれでも参加できる状況であるため妥当である。			
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 事業参加者へ記念品を提供しているが、大会に対しこの費用で他に効果的に協力できる方法がなく、向上の余地はない。			
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 文化協会事業の一環として位置付け、展開していく。 ☒ 類似事務事業がない			
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】			
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業参加者へ記念品を提供しているが、大会に対しこの費用で他に効果的に協力できる方法がないが、類似事業との統合で削減の余地がある。			
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方・見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 職員の関与は最低限であり、これ以上の削減余地はない。			
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 大会へは市内外の希望者はすべて参加できるため適正である。			

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	この事業をあえて別事業としてあげている意味がない。基本的にはH24年度より文化協会活動支援事業等と統合すべきである。 統合案としては文化協会協力事業(12353囲碁将棋)、市文化講演会開催事業(12354)、市文化協会活動支援事業(12356地区文化祭補助)、市文化協会専門部活動支援事業(12357)これらを「市文化協会事業」とする。ただし12354は図書館講演会、12357はふるさと再見ガイドツアー開催事業との統合も検討する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①文化協会での理解																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①文化協会の意識改革		成果優先度評価結果	⑫																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					